

静岡分苑だより

2024 春号



(2024年3月31日撮影) 献茶



(2024年4月10日撮影)

はるかぜ
もも はな
春風のかをりて諸の花ひらく
みよ
のどかな御代となさしめたまへ
はるかぜ
もも はな
春風のかをりて諸の花ひらく
みよ
のどかな御代となさしめたまへ
出口王仁三郎

「このはなざくら」観桜茶会

静岡分苑のこのはなざくらは、教主さまよりご下賜いただきました。そのご面会の際、「お茶会をしたいですね」とのお言葉を賜りました。

昨年、このはなざくらの開花に合わせてご親教を賜り、このご親教を契機に、静岡分苑では今年からこのはなざくらの開花に合わせて観桜茶会を開催することになりました。今年は、昨年と一昨年の天候を基準に、三月の末か四月の始めが美しく咲く時期と予測し、三月三十一日に開催することとしました。しかし、今年の気温が低く、大祭前日に開花しました。お茶会は本尾清美先生に御指導をお願いし、お道具の準備、お点前のご指導をしていただきました。

本席には、聖師さまの「萬福満屋」の掛け軸や耀盤、教主さまのお茶杓、ご尊父であられる広瀬静水先生が石川県出身であることから、能登の人間国宝である大極長左衛門の水指や古田織部の茶碗など、お道具の選定には、一般の方々や世の中の状況を考慮しました。また、お菓子は能登の地震災害の復興支援として、金沢の「中田屋」からきんつばをご用意させていただきました。

茶席は本席、椅子席、野点席の三つに分かれており、このはなざくらの前で八足を立てて献茶しました。椅子席には野点傘を立て、この日は二代教主さまの日であったため、「すくいの船」の短冊を掛けました。心を込めて「信徒も一般の方も、共にお救いいただきますように」と祈りました。

茶道の奥深さを感じ、皆さまの笑顔が花開く素晴らしなお茶会でした。(文・谷田新樹)

短歌を始めてみませんか

三代教主さまが提唱した「アララギの詠風に学んで新万葉調をめざす」との主旨に添って始められた大本の短歌は、生活の中の素材を作者自身の心で見えて、感じたものを捉えて五・七・五・七・七の三十一韻という形式で表します。

長生殿前の農業研究センター跡地が「綾機平」と命名され、その場所由来年十月に「綾の聖地エルサレム大本歌祭」が開かれるという嬉しい発表がありました。

そこで、第一回エルサレム歌祭に献詠歌をお供えするという事を目標に、共に学ぶ仲間を募集します。

流れとしては、左記の通りです。

① 毎月二首の短歌を提出

(佐々木敏朗先生に添削を依頼)

② 月に一度、オンラインで勉強会を開催 (講師・佐々木敏朗先生)

③ 各個人の添削された短歌二首のうち、一首が「木の花」誌に掲載されます

※詳細は次回の月次祭時にお知らせします
短歌に興味がある方、再び短歌を始めた方、初心の方等々、お待ちしております。

(安国分所 名古屋和泉)

愛善歌奉納大会 練習のお知らせ

五月四日(土)に教主生誕祭を慶祝する全国愛善歌奉納大会が開催されます。今年が大会が開催されてより三十年の佳節の年となります。

静岡分苑で事前練習を行いますので、多忙の折とは思いますが、ご行事の意義をご理解いただき、皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

なお、練習への参加が難しい方も、五月四日当日の奉納への参加は大歓迎です。当日の朝食後にも練習を行う予定です。

練習日

・ 四月十四日(日) 四月月次祭 直会后

・ 四月二十九日(月祝) 十三時~十五時半

奉納曲

・ 愛善歌「栄光」(混声四部合唱)

(愛善歌担当 井村浩仁朗)

直心会より

* 五月三日午後~四日 直心会献金バザー

* 五月五日 長生殿みろく大祭祭典後片付け

持ち物

・ 白の割烹着、日本てぬぐい

お手伝い頂ける方は、静岡分苑

直心会までご連絡ください。

(直心会 齋藤雅美)



春季大祭の手作り弁当です

【編集後記】

この度、このはなざくらの看板が立てられました。分苑の前の道路は、近所の方もよく散歩されています。沢山の方に知って頂きたいです。聖地の祭典、愛善歌奉納、短歌会、エスペラントなど、家族揃って参加してみませんか。

令和6年4月14日

発行者 大本静岡分苑

〒421-3306

富士市中之郷小池下2353-1

谷田 新樹





遠江分所

Saluton!
こんにちは

遠江分所は昭和五十八年一月に磐田市に発足致しまして、早四十一年余りの月日に至っております。盛況時にはそれは沢山の信者さんでありましたが、今現在は五十代から九十代の男女合わせて十五名程の会員で成り立っております。

月次祭は活気がありお互い思うところ意見があればしっかりと話し合い、時には戦々恐々となる場面もありますが、それもまた良しと次につながる和気あいあとした仲間達です。

ビデオの勉強会、祭式講習にも力を入れております。コロナ前は皆で協力し合う直会も楽しみの一部でした。(今は皆さん弁当持参です)

今はこの素晴らしい信仰を次の世代にしっかりとバトン出来るよう、私達の強い使命として勉強していく所存です。皆様これからも何卒宜しくご指導下さいますようお願い致します。

(文・井指邦代)

このはなざくら 観桜茶会



大祭前日に開花しました



部屋からもこのはなざくらを眺めました



東海サミット 3月2日〜3日

東海サミットで決まった事を報告いたします。

●香良洲神社に、香良洲神社と大本の友好祈念碑を東海教区の信徒の献金で建立することになりました。祈念碑には教主さまご染筆「おからすのかみ」を刻字します。教主さまご染筆の石碑は国内初となります。

●皆神山大本三代教主平和祈願70周年記念大祭が6月16日午前10時に開催されます。静岡分苑から祭員1名派遣します。

●煉成道場 5月26日に名古屋分苑で開催予定です。

(文・井村浩仁郎)

節分大祭 祭員・瀬織津姫ご奉仕

二月の節分大祭でご奉仕された方より一言いただきました。

●今回、地方祭員と瀬織津姫という大役をさせていただきありがとうございました。

夫婦で節分大祭をご奉仕させて頂くのはきつと一生に一度だと思うのでとても貴重な経験をさせて頂きました。

(富士分所 福本一樹、菜美子)

●私は入信して間もないため、節分大祭というものには参加した経験がありませんでしたが、あるきっかけから瀬織津姫という重要な役を担うことになりました。

途切れることなく奏上される神言が殿内に響き渡る中、人型と型代を壺に納めました。

深夜、多くの人々の願いを乗せた人型と型代が祝詞の声に乗って和知川に流れていく様子を見て、皆さまに本当に幸せになっていただきたいと心から願いました。

(志太支部 S・M)

青年部より 行事送り出しのご報告

いつも青年部活動へのご理解・ご協力、ありがとうございます。昨年いただいた賛助金から、青少年部行事送り出しの補助を出させていただきましたので、ご報告いたします。

- ・南米本部夏期学級「南米青年交流団」(佐藤良亮さん)
- ・令和六年度 高校生講座(小谷凜さん)
- ・祭式講習会(尾山勇太郎さん、福本結太さん、福本准平さん)

なお、本部分所や静岡分苑の活動の様子は、大本青年部公式「LINEまつころ」でも紹介されています。ぜひ登録してご覧ください！

★「まつころ」アカウント二次元コード↓

